

2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 **穴吹興産株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 **8928** URL <https://www.anabuki.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴吹 忠嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 富岡 徹也 TEL 087-822-3567
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	72,758	12.6	3,765	24.2	3,828	36.0	2,074	18.8
2020年6月期第3四半期	64,645	△8.1	3,030	△31.4	2,814	△33.6	1,745	△34.2

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 2,129百万円 (18.5%) 2020年6月期第3四半期 1,797百万円 (△33.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	194.48	—
2020年6月期第3四半期	163.68	—

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第3四半期	119,908	29,238	23.8	2,680.89
2020年6月期	87,226	27,696	31.1	2,541.37

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 28,596百万円 2020年6月期 27,108百万円

当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	45.00	—	32.50	—
2021年6月期	—	22.50	—		
2021年6月期（予想）				32.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	3.8	4,500	△21.7	4,200	△25.3	2,700	△17.8	253.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）あなぶきホームライフ株式会社
(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	11,535,600株	2020年6月期	11,535,600株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	868,758株	2020年6月期	868,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	10,666,878株	2020年6月期3Q	10,666,948株

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により景気回復が停滞し、緊急事態宣言の再発出により、経済活動の制限や消費マインドの冷え込みが見られました。感染の収束までにはいまだ一定の時間を要するとみられ、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

不動産業界においては、感染再拡大への懸念や不動産価格の高額化等、引き続き注意を要する状況ではありますが、政府による各種支援制度や低金利環境を背景に、コロナ禍による影響は比較的に受けられず、消費者の根強い購買意欲にも支えられ堅調に推移しております。

このような状況の中で、当社グループの主力事業である分譲マンション事業におきましては、引き続き感染拡大防止のための各種対策を十分に講じ、お客様が安心してご来場いただける環境づくりや、IT技術を活用したオンライン商談により、販売活動を継続してまいりました。また、当社グループの強みであるマーケティング力を活かし、ウィズ/アフターコロナにおける新たな需要の掘り起こしや、テレワークなどの生活スタイルの転換に対応した新たな商品やサービスの開発などに取り組みました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は72,758百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益3,765百万円（同24.2%増）、経常利益3,828百万円（同36.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,074百万円（同18.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である分譲マンションの販売について、当第3四半期連結累計期間における新規販売開始マンション及び完成引渡マンションが前期に比して多かったことにより、当第3四半期連結累計期間における契約戸数は1,424戸（前年同期比8.6%増）、売上戸数は1,403戸（同11.4%増）となりました。なお、通期売上予定戸数1,855戸のうち、当第3四半期連結会計期間末における未契約住戸は2戸を残すだけとなっております。引き続き期初の予定どおり堅調な状況で推移いたしました。

この結果、不動産関連事業の売上高は、50,758百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益は3,421百万円（同45.8%増）となりました。

なお、分譲マンションにおける他社との共同事業における戸数については、当社事業割合で計算しております。

② 人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、女性の労働参加率の向上、海外人材の活用、障がい者の雇用支援など、あらゆる「ひと」の働き方を応援し、顧客とのパートナーシップにより新たな雇用を創り出すことで、地域社会の課題解決に貢献するとともに収益の拡大に取り組みました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は4,558百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は142百万円（同5.1%増）となりました。

③ 施設運営事業

施設運営事業におきましては、主力であるホテル事業及び施設運営受託事業において、移動制限の解除や経済活動が段階的に再開されたことにより、ホテルの客室稼働率の回復も見られておりましたが、感染再拡大の影響により、施設利用の低稼働状態が続いております。

この結果、施設運営事業の売上高は2,912百万円（前年同期比31.6%減）、営業損失は390百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

④ 介護医療関連事業

介護医療関連事業におきましては、お客様の安心安全を第一に、感染対策を十分に講じながら、有料老人ホーム（介護付き・住宅型）及びサービス付き高齢者向け住宅の運営に取り組みました。

この結果、介護医療関連事業の売上高は4,214百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は159百万円（同7.7%増）となりました。

⑤ 小売流通関連事業

小売流通関連事業におきましては、長崎県にて事業展開を行っているスーパーマーケット事業（14店舗）において、引き続き、新商品開拓や開発の強化、また「食」と「住」を繋ぐ新しい地域創生ビジネスモデルやネットスーパー事業の構築も推進し、収益体制の確立を目指しました。

この結果、小売流通関連事業の売上高は6,531百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は75百万円（同73.2%増）となりました。

⑥ エネルギー関連事業

エネルギー関連事業におきましては、高圧一括受電により分譲マンション等へ割安な電力提供を行う電力提供事業において、引き続き、サービス提供戸数及び施設の拡大に注力いたしました。また、EV関連の新たなサービスの受注拡大にも取り組みました。

この結果、エネルギー関連事業の売上高は3,445百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は460百万円（同22.9%増）となりました。

⑦ 観光事業

観光事業におきましては、感染再拡大の影響により、引き続き、利用客の減少等が続いておりますが、コロナ禍でも安全安心に楽しめる新しい旅の仕組みの提供や、観光のニューノーマルに向けて、行政と連携した実証実験にも継続して取り組みました。

この結果、観光事業の売上高は337百万円（前年同期比74.8%減）、営業損失は105百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は86,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ25,732百万円増加いたしました。これは主に仕掛販売用不動産が16,196百万円増加したことによるものであります。固定資産は33,846百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,949百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が4,689百万円増加したことによるものであります。これらは主に、あなぶきホームライフ(株)（旧名称：セコムホームライフ(株)）の株式を取得し子会社化したことによるものであります。

この結果、総資産は、119,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ32,681百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は50,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,172百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が14,776百万円増加したことによるものであります。固定負債は40,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,967百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債は、90,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ31,139百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は29,238百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,541百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,074百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は23.8%（前連結会計年度末は31.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月7日付「2020年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,373,701	12,731,374
受取手形及び売掛金	1,541,052	1,666,177
販売用不動産	16,076,092	18,072,414
仕掛販売用不動産	33,086,041	49,282,293
その他のたな卸資産	341,397	345,198
その他	2,920,131	3,973,582
貸倒引当金	△9,529	△9,370
流動資産合計	60,328,887	86,061,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,457,428	13,366,323
機械装置及び運搬具(純額)	447,414	410,795
土地	7,545,097	8,197,467
建設仮勘定	819,751	57,474
その他(純額)	647,211	886,164
有形固定資産合計	20,916,902	22,918,224
無形固定資産		
のれん	126,276	109,247
その他	389,436	400,220
無形固定資産合計	515,713	509,467
投資その他の資産		
投資有価証券	536,520	5,225,585
長期貸付金	1,909,650	2,034,689
繰延税金資産	711,920	717,524
その他	2,340,852	2,552,249
貸倒引当金	△33,935	△110,962
投資その他の資産合計	5,465,009	10,419,086
固定資産合計	26,897,625	33,846,779
資産合計	87,226,513	119,908,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,258,413	10,198,432
短期借入金	4,943,000	19,719,000
1年内償還予定の社債	1,331,000	2,072,000
1年内返済予定の長期借入金	2,201,854	3,383,048
未払法人税等	1,194,708	1,416,572
賞与引当金	630,922	291,324
前受金	6,413,030	7,751,384
訴訟損失引当金	50,000	—
その他	2,867,227	5,230,402
流動負債合計	23,890,156	50,062,164
固定負債		
社債	11,660,600	11,047,700
長期借入金	20,814,608	26,211,007
退職給付に係る負債	1,039,577	1,312,167
役員退職慰労引当金	63,286	63,286
繰延税金負債	—	92,521
その他	2,061,975	1,881,334
固定負債合計	35,640,046	40,608,016
負債合計	59,530,203	90,670,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	755,794	755,794
資本剰余金	821,283	821,283
利益剰余金	25,983,998	27,471,908
自己株式	△445,051	△445,120
株主資本合計	27,116,024	28,603,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,477	△7,223
その他の包括利益累計額合計	△7,477	△7,223
非支配株主持分	587,763	641,627
純資産合計	27,696,310	29,238,269
負債純資産合計	87,226,513	119,908,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	64,645,151	72,758,796
売上原価	50,307,939	57,539,749
売上総利益	14,337,212	15,219,047
販売費及び一般管理費	11,306,459	11,453,412
営業利益	3,030,753	3,765,634
営業外収益		
受取利息	21,810	41,750
受取配当金	5,693	4,130
受取手数料	7,720	9,588
補助金収入	110,972	363,512
その他	117,396	69,777
営業外収益合計	263,594	488,759
営業外費用		
支払利息	241,871	285,303
その他	238,070	140,214
営業外費用合計	479,942	425,518
経常利益	2,814,404	3,828,875
特別利益		
固定資産売却益	3,894	6,681
特別利益合計	3,894	6,681
特別損失		
固定資産除却損	234	7,207
投資有価証券評価損	20,963	4,123
和解金	—	200,000
特別損失合計	21,197	211,330
税金等調整前四半期純利益	2,797,101	3,624,226
法人税、住民税及び事業税	826,801	1,500,520
法人税等調整額	171,708	△5,714
法人税等合計	998,509	1,494,805
四半期純利益	1,798,591	2,129,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	52,640	54,831
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,745,950	2,074,588

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,798,591	2,129,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,366	253
その他の包括利益合計	△1,366	253
四半期包括利益	1,797,225	2,129,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,744,584	2,074,842
非支配株主に係る四半期包括利益	52,640	54,831

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、あなぶきホームライフ㈱(旧名称:セコムホームライフ㈱)の株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、あなぶきホームライフ㈱は当社の特定子会社に該当していません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書開示時におきましては、新型コロナウイルス感染症は2020年12月頃には収束に向かい始め、2022年6月期には当社グループへの影響が解消されると仮定しておりました。収束時期につきましては想定よりも長引くものと予測されますが、感染症対策を講じながら事業活動を継続していること等を踏まえ、会計上の見積りに用いた仮定に重要な変更はありません。

当該感染症の感染拡大は、当社グループの経営成績等に影響を与える可能性があり、今後の状況を注視してまいります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産関連 事業	人材サービス 関連事業	施設運営事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	41,268,197	4,631,558	4,257,379	3,838,761	6,159,291	3,153,003	1,336,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	278,309	14,171	23,972	1,604	4,765	38,623	5,790
計	41,546,507	4,645,729	4,281,351	3,840,365	6,164,057	3,191,627	1,342,749
セグメント利益又は損失(△)	2,345,859	135,688	△15,551	148,066	43,349	374,671	△4,489

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	64,645,151	—	64,645,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	367,236	△367,236	—
計	65,012,387	△367,236	64,645,151
セグメント利益又は損失(△)	3,027,593	3,159	3,030,753

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産関連 事業	人材サービス 関連事業	施設運営事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	50,758,219	4,558,662	2,912,773	4,214,958	6,531,838	3,445,211	337,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	157,550	6,999	10,334	2,597	7,534	39,423	1,138
計	50,915,769	4,565,661	2,923,108	4,217,556	6,539,372	3,484,635	338,271
セグメント利益又は損失(△)	3,421,266	142,656	△390,348	159,439	75,073	460,283	△105,090

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	72,758,796	—	72,758,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	225,577	△225,577	—
計	72,984,374	△225,577	72,758,796
セグメント利益又は損失(△)	3,763,280	2,353	3,765,634

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。